

経営比較分析表（令和5年度決算）

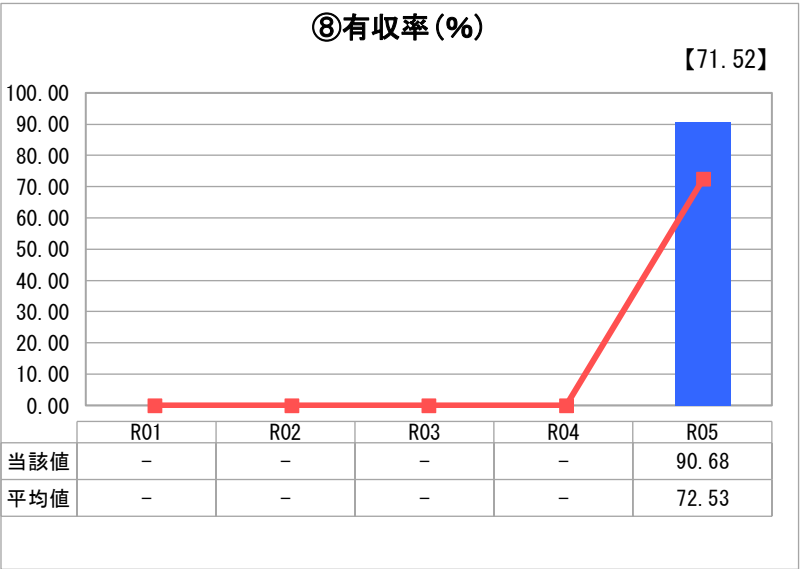
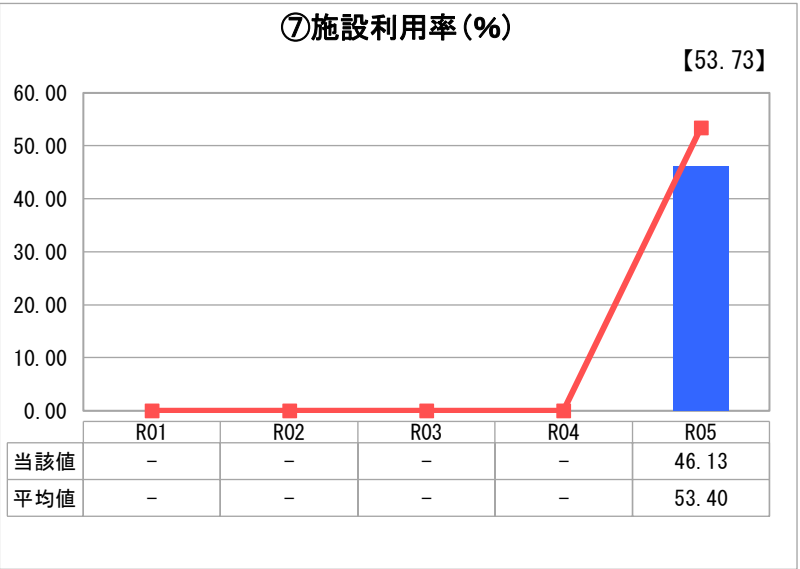
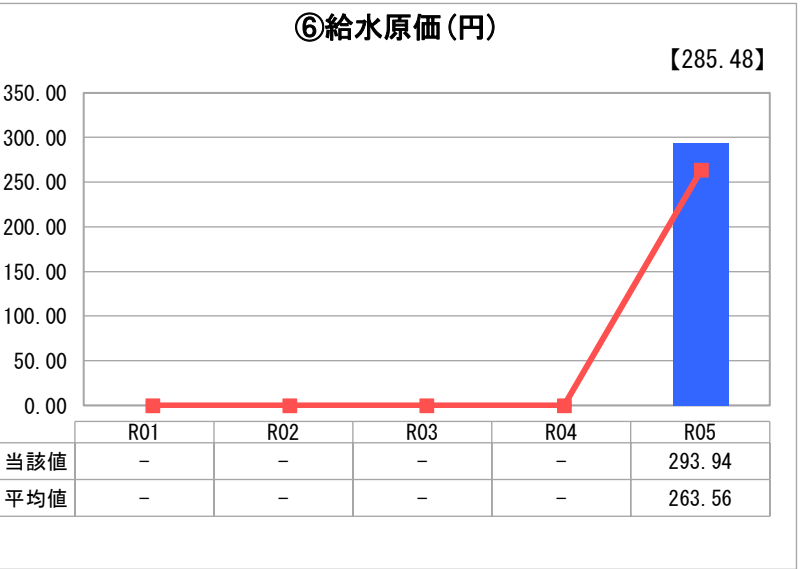
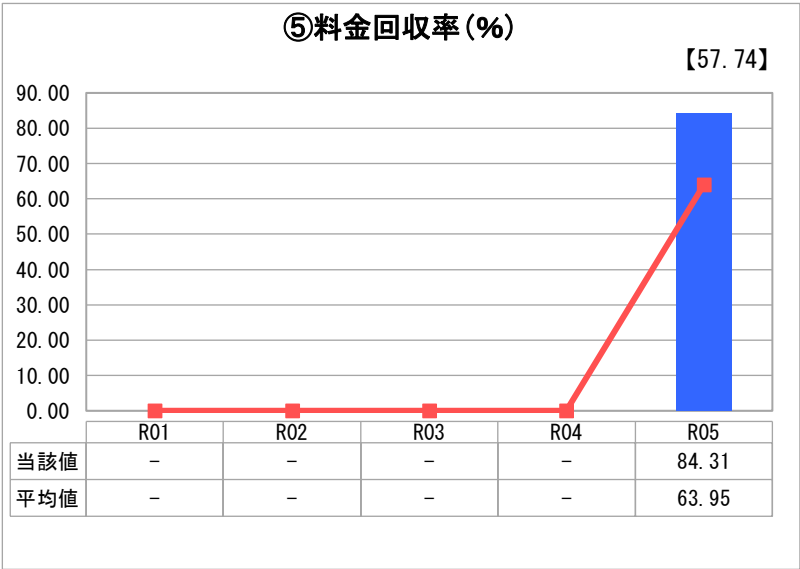
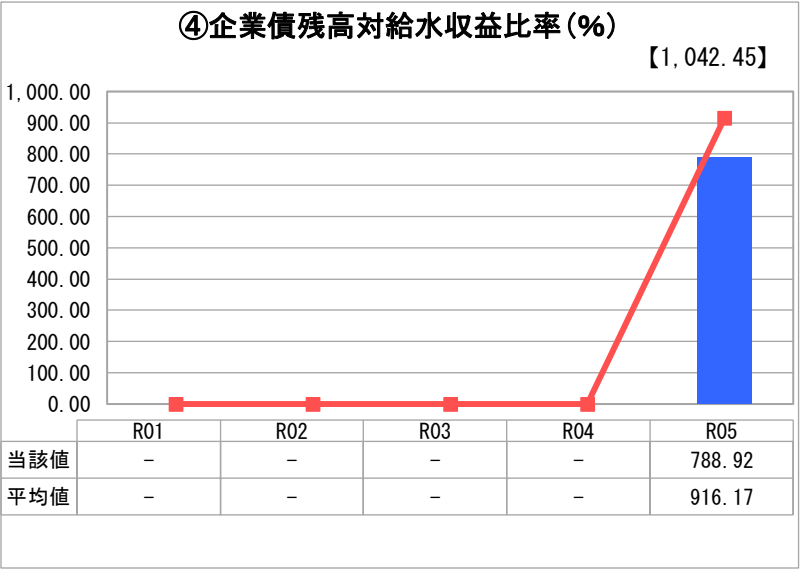
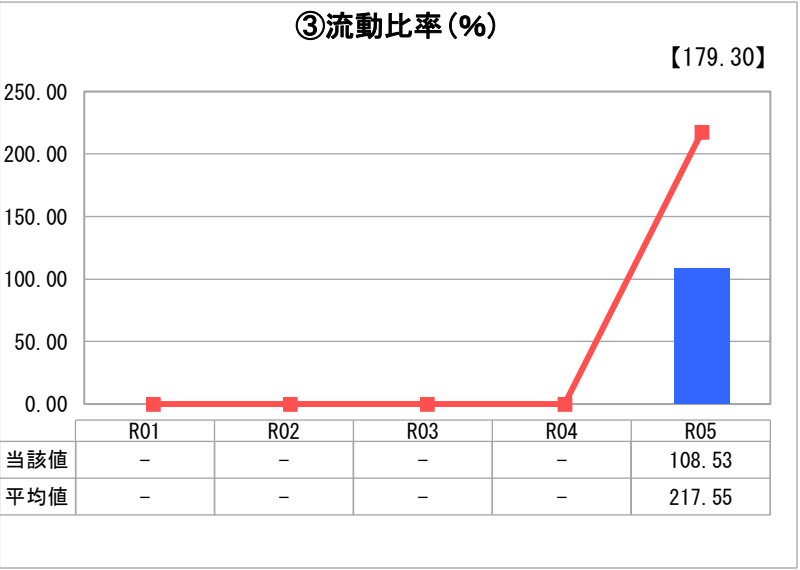
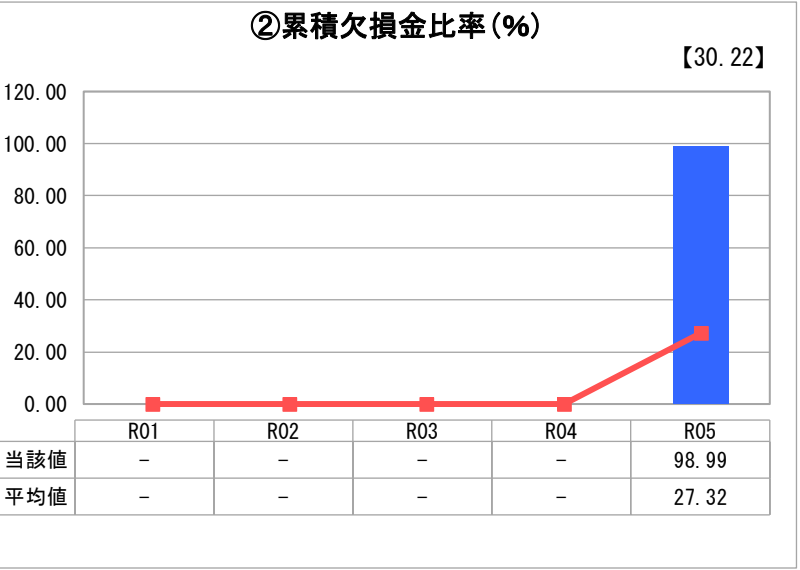
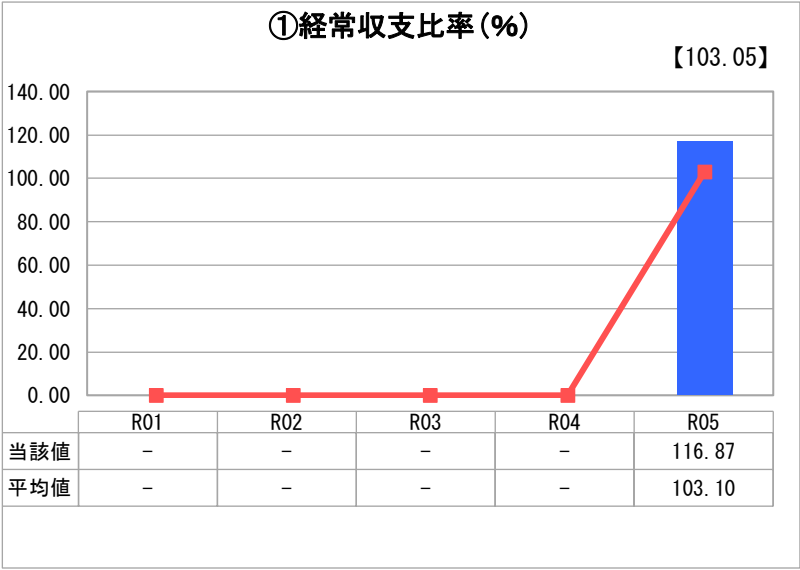
広島県 広島県水道広域連合企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	自治体職員 民間企業出身
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	76.42	49.25	4,220	

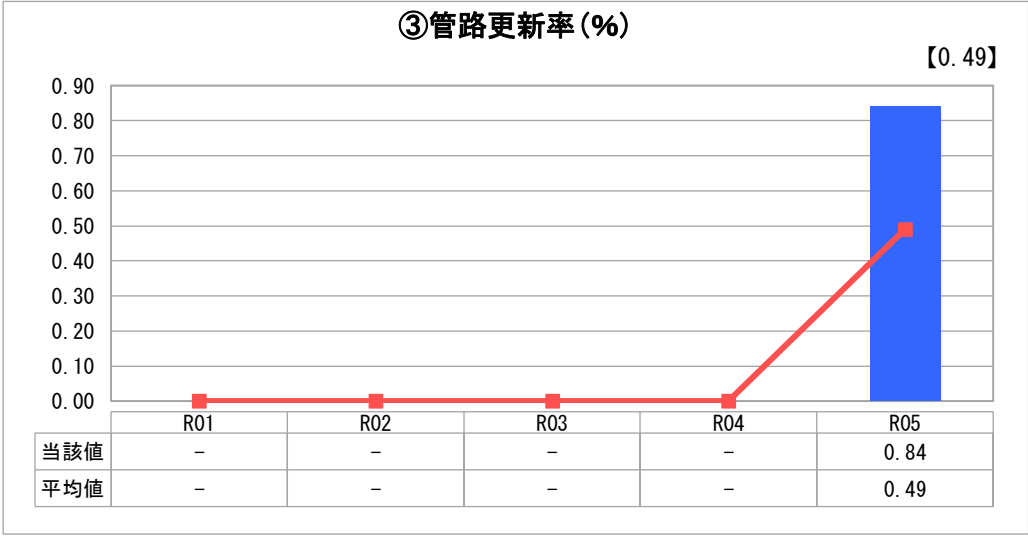
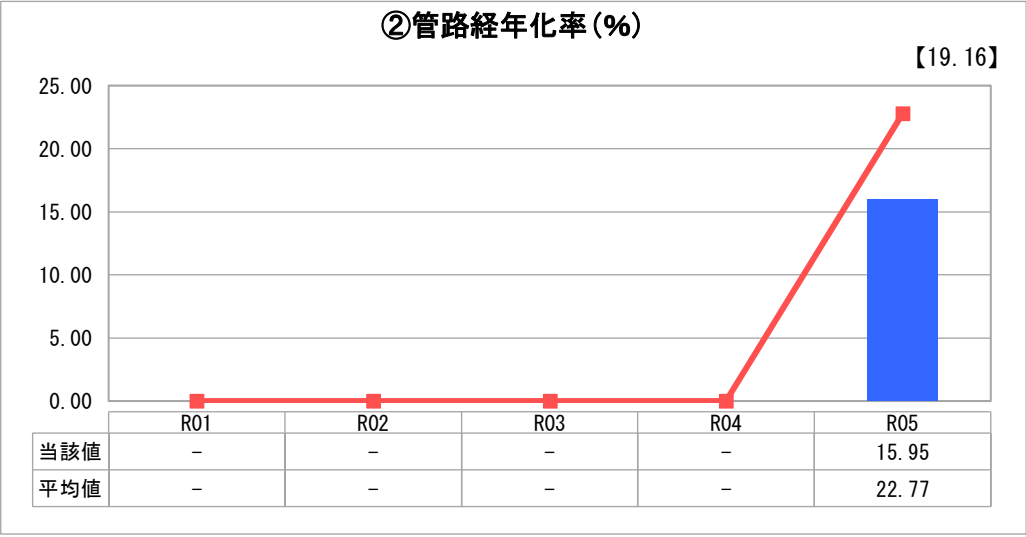
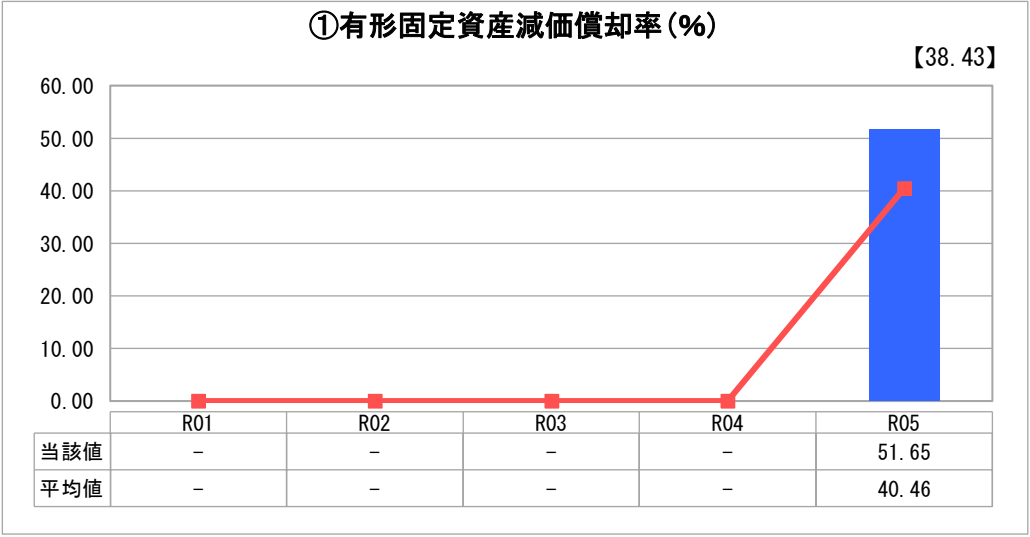
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
-	-	-
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
3,921	0.13	30,161.54

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【①経常収支比率、⑤料金回収率】
経常収支比率は100%を上回っているが、料金回収率は100%を下回っており、一般会計からの繰入に依存した構造になっている。

【②累積欠損比率】
令和5年度から公営企業会計の適用に伴い、会計を整理したことにより、欠損金が生じた。

【③流動比率】
短期債務に対し支払可能な現金等の保有状況を示す流動比率は100%を上回り、支払能力を確保している。

【④企業債残高対給水収益比率】
他団体と比べ投資を抑えているため、企業債の借入が少なく、企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値（以下「平均値」という。）を下回っている。

【⑥給水原価】
給水原価は平均値を上回っている。これは、物価上昇のほか、浄水場が点在するなど、地勢的に費用がかかるためである。

【⑦施設利用率】
施設利用率は、浄水場が点在するなど施設効率が悪く、平均値を下回っている。

【⑧有収率】
有収率は、平均値を上回っており、施設の稼働状況が収益に反映できている。

2. 老朽化の状況について

【①有形固定資産減価償却率】
有形固定資産減価償却率は平均値を上回っており、資産の老朽化が進んでいる。

【②管路経年化率】
近年に布設した管路が多いため、管路経年化率は平均値を下回っている。しかし、管路の老朽化は着実に進んでいるため、今後計画的に耐震管に更新し、老朽化の改善と強靱化を図っていく必要がある。

【③管路更新率】
管路更新率は、平均値を上回っている。引き続き広域計画に則り、計画的に耐震管に更新していく。

全体総括

簡易水道事業の経常収支比率は100%を上回っているものの、一般会計からの繰入金に依存している構造である。

また、社会情勢の変化に伴い、資材価格の高騰や工事費等の費用が大幅に増加するなど、今後、一層厳しい経営状況が見込まれる。

本水道企業団では、統合のスケールメリットを活かし、施設の最適化や更新、コスト縮減を図るなどして、効率的な事業運営を進めていく。